

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 (名張高校定時制)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		「自律」「協調」「創造」を校訓とし、地域に信頼され、社会に貢献する人材を輩出できる学校。
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 挨拶や身だしなみなど基本的な生活習慣が身についている生徒。 → 時間を守るなど自分の役割や責任を理解し行動できる生徒。 ○ 社会で必要とされる基礎的な学力があり、自ら考え判断し、主体的に行動できる生徒。 ○ 豊かな心を持ち、人権と生命尊重の意識、規範意識や社会的マナーを備えた生徒。
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業を通して、自ら学ぶ姿勢を育むとともに、一人ひとりの生徒に寄り添い、粘り強く支援・指導を続けられる教職員。 ○ 情報共有と意思疎通を図りながら、個々の特性を活かしチームとして教育活動をすすめる教職員集団。 ○ ITC の活用修や授業改善、業務の効率化などに前向きに取り組み、あらゆる場面において常に改善の意識をもつ教職員。

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		生徒: 学校生活の充実(授業内容・学校行事・施設設備) 進路保障(情報提供) 保護者: 基礎学力の定着、進路保障・卒業、社会規範の向上 進路先: 基礎学力、一般教養、協調性、誠実さ、辛抱強さ	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		連携する相手からの要望・期待 保護者: 進路保障・卒業、社会規範・基礎学力の定着 地域: 地域に貢献できる人材の育成 公的機関: 多様な生徒の支援	連携する相手への要望・期待 保護者: 基本的な生活習慣の確立、生徒への愛情と関心、相互連絡と協力 地域: 地域の活力の利用 公的機関: 情報の共有、教育的支援・連携
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 定時制の教育環境は、教員による指導が行き届いており、生徒が誰一人疎外感を感じていないように思う。 ○ 家庭環境が多様で、保護者との連携が難しいが、今後は携帯メールなどのツールを積極的に使うことも考える必要があるのではないかな。 ○ コミュニケーションに課題がある生徒もいるので、きっかけ作りとして生徒の関心度が高いオンラインゲーム等を話題にしてはどうか。 ○ 集団で培うものを大切にしたい行事計画を進めてはどうか。 	
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の理解度はおおむね良好であるが、目的意識や学習意欲、学力において大きな差があることから、個々の生徒の能力、興味・関心に応じた教育課程の編成と学習環境づくりに取り組む必要がある。 ○ 近年は落ち着いた雰囲気の中で授業を受けることができていることから、今後は、生徒が主体的・発展的に考える力の育成が必要と考えられる。 ○ 人権教育に関して、中学までの学習機会や個人の意識に差があることから、ここの状況を把握し、人権学習に反映させる必要がある。 	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 時間の管理や挨拶など基本的な生活習慣の確立を目指し、基礎的な学力や人権意識の向上を目指すにあたり、教職員の協働体制をより一層高める必要がある。 ○ 各教職員のそれぞれの取り組みや生徒情報が、的確に伝わるような情報共有の仕組みを作っていく必要がある。特に進路指導主事が、毎年変わる組織編成のため、生徒の進路希望状況等を職員全体で共通理解し、組織的に指導していく必要がある。 ○ 生徒一人ひとりが集団の中でのマナーや人権意識を身に付けるとともに、学校内で自分が安心できる居場所を確保できるよう、地域や家庭、関係機関との連携を強化する必要がある。 ○ 地域や家庭、関係機関との連携を密にし、学校から地域への情報発信を進める必要がある。 	

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業作りにより基礎学力の定着を目指し、継続的な授業改善に取り組み、丁寧でわかりやすい授業を工夫する。 ○ 社会で自立できる確かな言語能力をつける授業の研究をすすめる。 ○ 豊かな心の育成を目指し、人権と生命尊重の意識・規範意識の向上、社会的マナーの定着を図る。 ○ 卒業後の進路をしっかりと考えるために、キャリア教育を活かした進路指導に努める。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 信頼される学校づくりを目指し、家庭や地域、関係機関等との連携をより一層深めるために、情報発信を進めていく。 ○ 大学、専門学校、自動車学校など地域機関等を利用した出前授業を活用し、社会で必要とされる幅広い知識を生徒に発信できる体制を整える。 ○ 教職員自身の人権意識や生命尊重への意識をさらに高めるため、教職員における校内外での研修機会を拡大・継続して行く。 ○ 総勤務時間縮減に関する取組を継続するとともに、教職員が働きがいのある職場環境の充実をめざす。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
主体的に学ぶ力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数学習や TT の授業を実施して、丁寧でわかりやすい授業を行い自信とやる気を育てる。 【活動指標】授業評価アンケートの実施 【成果指標】各授業において、生徒の理解度85%以上 ○ 生徒会行事等に主体的・積極的に参加させる 【活動指標】生徒会行事の実施回数、企画会議回数。 <li style="padding-left: 20px;">花いっぱい運動や畑での作物栽培活動の実施 【成果指標】学校生活アンケートの満足度 60%以上 	(年度末および適宜記載)	
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自他の人権の尊重、命の大切さを実感する学習に積極的に取り組む。 ・ 人権学習の充実を図るため、生徒の状況に応じて、講演会や学年別の取組みを取り入れる。 ・ 「にゃん丸ニュース」などの壁新聞に加え、生徒保護者対象の人権通信を発行し、人権学習の定着を図る。 ・ ネットモラル向上への取組 【活動指標】人権アンケートの実施(年2回)、生徒による発信、人権通信の発行(年3回) 		
キャリア教育の充実と進路保証	<ul style="list-style-type: none"> ○ 就職実現コーディネーターやハローワークなどの外部機関との連携を強め、生徒の就業に対する意欲向上を図る。 ○ アルバイトも含め就労支援を強化するため、関係機関との連携体制を確立する。 【活動指標】進路ガイダンスの実施、連携機関との協議の充実。ハローワークなどの連携機関と毎月連絡を取り最新の情報収集を進める。 【成果指標】進路ガイダンス実施年3回以上。満足度80以上。 		

<p>安心して学べる学校作り</p> <p>保健管理</p>	<p>○生徒一人ひとりの思いを受け止め、生徒間の仲間意識を強くするいじめのない学校作り。</p> <p>「3A(トリプルA)」の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あんしん(安心)できるHRづくり ・あいさつ(挨拶)のできる習慣の定着 ・あきらめない姿勢を持ち続ける生徒の育成 <p>【活動指標】挨拶運動の取り組み。スマホ安全教室、薬物乱用防止教室、交通安全教室など各種講座の実施。いじめ防止に向けての取組。生徒と教員間の良好なコミュニケーションの構築。</p> <p>【成果指標】いじめアンケートの実施(年3回以上)。個人面談の実施(オンライン面談を含む)</p> <p>○教育相談の充実</p> <p>【活動指標】スクールカウンセラーの活用推進</p> <p>○保健だよりを発行し、健康を守るための知識を養う。</p> <p>○生徒は自分自身の健康状態を把握し、健康を保持増進する意識を高め、健康管理する力を培う。</p> <p>【活動指標】保健だよりの定期的な発行。検診受診100%。薬物乱用防止教室、献血教室の開催。</p>	
改善課題		
(年度末記載)		

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
<p>信頼される学校作り</p>	<p>○新学習指導要領における観点別評価を確立する</p> <p>○家庭、地域、職場との連携をより一層深めるための情報発信に取り組む。</p> <p>【活動指標】定時制ホームページ、ブログの随時更新、関係機関等、地元中学校、教育支援センターとの情報共有</p> <p>発達障がい支援員、SSW、日本語支援アドバイザー等の活用</p> <p>【成果指標】学校の様子がわかると回答する保護者の割合60%以上</p>	<p>(年度末および適宜記載)</p>	
<p>安全安心な学校環境作り</p>	<p>○学校環境の安全確認と改善</p> <p>【活動指標】教職員による安全点検を学期に1回実施。</p> <p>○校外環境の保全と通学路等の安全確認</p> <p>【活動指標】校外クリーン活動の実施</p> <p>○感染症の感染防止に努める学校作り。</p> <p>【活動指標】登校後の健康観察の実施。感染の少ない環境作り(手洗い、手指消毒指導。器具等の消毒。換気の徹底)。必要に応じ、オンライン・電話での健康観察の実施</p>		

風通しの良い 明るい職場作り	<p>○教職員間の報連相の徹底。生徒情報などの共通認識のていねいな確認。学校環境の改善に関する活発なディスカッションを行う。</p> <p>○働きやすい職場環境の構築</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した日の定時に退校できた教職員の割合100% ・会議が60分以内に終了した割合 80%以上 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年360時間を超える時間外労働者数 0人 ・月45時間を超える時間外労働者の延べ人数 0人 ・1人当たりの月平均時間外労働30時間以下 ・1人当たりの年間休暇取得日数10日以上 		
改善課題			
(年度末記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった 改善課題と次への 取組方向	(年度末記載)
-----------------------------	---------

6 次年度に向けた改善策

教育活動につ いての改善策	(年度末記載)
学校運営につ いての改善策	(年度末記載)